

		内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
改革工程	①公社等のあり方見直し	効果的な組織・事業運営体制の構築	公益法人としてのすべての業務について円滑に推進している。	公益法人としてのすべての業務について円滑に推進した。	効率的な組織・事業運営体制の構築	
	②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	令和3年度の事業の成果を踏まえ、関係機関と連携を図った。	令和4年度の事業の成果を踏まえ、関係機関と連携を図った。	関係機関等と事業内容の検討	
		財務改善	自主財源確保の取組	協賛会員募集及びチームみやざき応援グッズの販売等、財源確保に取り組んだ。	協賛会員募集及びチームみやざき応援グッズの販売等、財源確保に取り組んだ。	自主財源確保の取組 賛助会員の拡大
		組織等適正化	適正な事務局組織・人員の確保	公益法人として、機能できる組織体制づくりを推進した。	公益法人として、機能できる組織体制づくりを推進した。	適正な事務局組織・人員の確保
	③関係と公社等の見直し	人的支援見直し	県職員派遣要否の検討、ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト企画運営業務を引き続き受託し、情報の発信や競技力向上に向けた事業の増加に伴い、派遣者数(7名)に増員をした。	県職員派遣要否の検討、ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト企画運営業務を引き続き受託し、情報の発信や競技力向上に向けた事業の業務量増加に伴い、派遣者数(8名)に増員をした。	県職員派遣等の見直しの検討 県退職者の配置検討	
		財政支出見直し	補助・委託事業の見直しの検討	運営費削減に引き続き取り組んだ。また一層の効率的な執行を図った。	運営費削減に引き続き取り組んだ。また一層の効率的な執行を図った。	補助・委託事業の見直しの検討
	④情報公開推進	ホームページ等での情報発信の充実	ホームページやアプリの充実により、最新の情報を的確に提供できる体制づくりを推進した。	ホームページやアプリの充実により、最新の情報を的確に提供できる体制づくりを推進した。	ホームページ等での情報発信の充実	

実 施 事 業	①競技力向上事業
	②国民スポーツ大会派遣及び関連事業
	③みやざき県民総合スポーツ祭事業
	④スポーツ指導者養成事業
	⑤地域スポーツ振興事業
	⑥スポーツ医・科学事業
	⑦スポーツ顕彰事業
	⑧スポーツ少年団事業
	⑨広報及び記録収集、活用事業
	⑩スポーツ交流事業

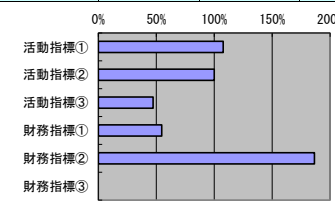
活動指標	指標名		算式（単位）	令和5年度			令和6年度	令和7年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	①	県民のスポーツ実施率	宮崎県県民意識調査集計結果（％）	65	70	107.5％	56	58
	②	国民スポーツ大会総合成績	国民スポーツ大会総合成績（位）	20位台	27	100.0％	20	10位台
③	ホームページアクセス数	平均月間アクセス数（件）	350,000	165,474	47.3％	350,000	350,000	
指標の設定に関する留意事項			①について、令和6年度から指標の考え方を以下のとおり変更し、目標値を変更する。 ・令和5年度以前・・・年1回以上スポーツを実施した者をカウント ・令和6年度以降・・・週1回以上スポーツを実施した者をカウント					

財務状況	正味財産増減計算書（千円）			貸借対照表（千円）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	216,830	377,963	408,343	資産	237,940	222,656
経常費用	216,816	368,801	418,137	流動資産	57,410	36,206
当期経常増減額	14	9,162	-9,794	固定資産	180,530	186,450
経常外収益	0	0	0	負債	48,542	22,627
経常外費用	0	0	0	流動負債	48,542	21,481
当期経常外増減額	0	0	0	固定負債	0	1,146
税引前当期一般正味財産増減額	14	9,162	-9,794	正味財産	189,398	200,029
法人税・住民税及び事業税	141	146	112	指定正味財産	180,530	182,145
当期一般正味財産増減額	-127	9,016	-9,906	（うち基本財産への充当額）	180,530	182,145
一般正味財産期首残高	8,993	8,868	17,884	（うち特定資産への充当額）	0	0
一般正味財産期末残高	8,866	17,884	7,978	一般正味財産	8,868	17,884
当期指定正味財産増減額	-5,000	1,615	-340	（うち基本財産への充当額）	8,868	17,884
指定正味財産期首残高	185,530	180,530	182,145	（うち特定資産への充当額）	0	0
指定正味財産期末残高	180,530	182,145	181,805			
正味財産期末残高	189,396	200,029	189,783			

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務 指標	指標名	算式（単位）	令和5年度			令和6年度	令和7年度
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値
	①	自主財源率	（基本財産運用益+自己収益+事業収益-仕入高-期末たな卸高）/経常費用×100（％）	21.0	11.5	54.8%	15,000,000
	※ 令和5年度 実績値の算式	(2,344+25,987,107+23,185,135-1,245,255+129,635) /418,137,318×100					
②	管理費比率	管理費/経常費用×100（％）	16.0	2.2	186.3%	8,000,000	8,000,000
	※ 令和5年度 実績値の算式	9,027,030/418,137,318×100					
③	※ 令和5年度 実績値の算式						
指標の設定に関する留意事項		令和6年度から、以下のとおり指標を変更する。 ①自主財源額（円） ②管理費（円）					

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	公社等 自己評価	県所管課と連携し、事業の推進ができています。 活動指数について、スポーツ実施率は目標を達成したものの、ホームページアクセス数を達成できておらず、県民に対しての情報発信を強めていく必要がある。 国民体育（スポーツ）大会の総合成績については、27位の成績を収め、20位台という目標を達成できた。2027年に本県開催の国民スポーツ大会に向けて、より一層の競技力向上に努めていく。				県所管部課 二次評価	アマチュアスポーツの統括組織として、関係競技団体と連携し、本県の体育・スポーツの普及及び競技力向上に努めている。 活動内容については、県民のスポーツ実施率及び国民体育大会総合成績が目標を達成しており、その取組について評価できる。一方、ホームページアクセス数は目標を達成できなかったことから、県民への広報等への更なる取組が必要である。 財政内容については、自主財源率が目標を達成できなかったが、管理費比率は目標を十分に達成しており、一定の評価ができる。引き続き自主財源の確保等、経営改善に努める必要がある。			
	評価（A：良好、B：ほぼ良好、C：やや課題あり、D：課題多い）	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価（A：良好、B：ほぼ良好、C：やや課題あり、D：課題多い）	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		B	B	B	C		B	B	B	C
	目標達成度					公社等改革 推進委員会 三次評価	活動内容については、スポーツ実施率及び国民スポーツ大会総合成績において目標を達成しており、これまでの取組が成果につながったものとして評価できる。 財務内容については、管理費比率が目標に達している点で評価できるが、自主財源率は目標値を下回っている。 国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会に向け事業量の増加が見込まれる中、安定した経営となるよう、自主財源確保の取組を進めることが求められる。			